

感染症発生動向調査週報

2019年27週(07月01日～07月07日) 2019年07月11日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	2	0.08	17	0.71	21	0.88	93	3.88	7	0.29
中北	-	-	-	-	1	0.33	-	-	27	9.00	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	4	0.80	13	2.60	3	0.60
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1.00	2	0.50
峡南	-	-	-	-	2	1.00	-	-	3	1.50	-	-
富士・東部	-	-	1	0.20	4	0.80	7	1.40	18	3.60	1	0.20
甲府市	-	-	1	0.20	10	2.00	10	2.00	28	5.60	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年27週(07月01日～07月07日)コメント

手足口病は中北保健所峡北支所管内、甲府市保健所管内で警報レベルとなりました。また、中北保健所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内でも報告数が多くなっています。手足口病は、ウイルスの感染によって口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る感染症で、子どもを中心に、主に夏に流行します。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)で、比較的長い期間、便からウイルスが排泄されることがあるので注意しましょう。

伝染性紅斑は中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内の警報レベルは継続しており、甲府市保健所管内でも報告数が多くなっています。伝染性紅斑は「リンゴ病」とも言われ、ウイルス感染による紅斑を主症状とする発疹性疾患です。小児にみられることが多く、ほとんどは軽症で自然に治りますが、関節炎がみられたり、妊婦が感染すると、胎児の異常や流産になることがあるので注意が必要です。

咽頭結膜熱は峡南保健所管内、甲府市保健所管内で報告数が多くなっています。
これらの感染症予防のため、咳エチケットや十分な手洗いを心がけ、タオルの共用は避けましょう。

【今週の警報】:手足口病(中北保健所峡北支所管内、甲府市保健所管内)、伝染性紅斑(中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内)

【今週の注意報】:なし

○山梨県集計(2019年27週(07月01日～07月07日))で報告が多い疾病順

手足口病 4.08 / 定当
感染性胃腸炎 3.88 / 定当
伝染性紅斑 1.54 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年27週(07月01日～07月07日))

手足口病 中北峡北 6.20 / 定当
感染性胃腸炎 中北 9.00 / 定当
伝染性紅斑 中北峡北 2.80 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年27週(07月01日～07月07日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	98	4.08	37	1.54	6	0.25	7	0.29
中北	6	2.00	-	-	1	0.33	1	0.3
中北峡北	31	6.20	14	2.80	1	0.20	-	-
峡東	8	2.00	11	2.75	-	-	-	-
峡南	3	1.50	-	-	-	-	-	-
富士・東部	22	4.40	4	0.80	1	0.20	1	0.20
甲府市	28	5.60	8	1.60	3	0.60	5	1.00
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年27週(07月01日～07月07日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.13	-	-	7	0.78	-	-	1	0.10
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	4	2.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.40	-	-	2	1.00	-	-	-	-
甲府市	1	0.20	-	-	1	0.50	-	-	1	0.50
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年27週(07月01日～07月07日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年28週(07月08日～07月14日) 2019年07月18日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	15	0.63	22	0.92	57	2.38	17	0.71
中北	-	-	-	-	-	-	2	0.67	16	5.33	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	7	1.40	5	1.00	2	0.40
峡東	-	-	-	-	-	-	1	0.25	1	0.25	7	1.75
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1.00	-	-
富士・東部	-	-	-	-	5	1.00	10	2.00	14	2.80	7	1.40
甲府市	-	-	-	-	10	2.00	2	0.40	19	3.80	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年28週(07月08日～07月14日)コメント

手足口病は中北保健所峡北支所管内、甲府市保健所管内で警報レベルが継続しています。また、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内では、新たに警報レベルとなりました。手足口病は、ウイルスの感染によって口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る感染症で、子どもを中心に、主に夏に流行します。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)で、比較的長い期間、便からウイルスが排泄されることがあるので注意しましょう。

伝染性紅斑は峡東保健所管内では、警報レベルが解除となりましたが、中北保健所峡北支所管内の警報レベルは継続しており、甲府市保健所管内でも報告数が多くなっています。伝染性紅斑は「リンゴ病」とも言われ、ウイルス感染による紅斑を主症状とする発疹性疾患です。小児にみられることが多く、ほとんどは軽症で自然に治りますが、関節炎がみられたり、妊婦が感染すると、胎児の異常や流産になることがあるので注意が必要です。

水痘は、峡東保健所管内及び富士・東部保健所管内で注意報レベルとなりました。ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症で、「みずぼうそう」とも言われます。空気感染、飛沫感染、接触感染によって広がりますが、ワクチン接種による予防が可能です。詳しくはお住まいの市町村予防接種担当窓口、各保健所にお問い合わせ下さい。

これらの感染症予防のため、咳エチケットや十分な手洗いを心がけ、タオルの共用は避けましょう。

【今週の警報】: 手足口病(中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)、
伝染性紅斑(中北保健所峡北支所管内)

【今週の注意報】: 水痘(峡東保健所管内、富士・東部保健所管内)

○山梨県集計(2019年28週(07月08日～07月14日))で報告が多い疾病順

手足口病	8.17 / 定当
感染性胃腸炎	2.38 / 定当
ヘルパンギーナ	1.25 / 定当
伝染性紅斑	1.17 / 定当
流行性角結膜炎	1.00 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年28週(07月08日～07月14日))

手足口病	富士・東部	12.6 / 定当
感染性胃腸炎	中北	5.33 / 定当
ヘルパンギーナ	中北峡北	2.00 / 定当
伝染性紅斑	中北峡北	2.40 / 定当
流行性角結膜炎	富士・東部	4.50 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年28週(07月08日～07月14日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	196	8.17	28	1.17	4	0.17	30	1.25
中北	1	0.33	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	61	12.2	12	2.40	-	-	10	2.00
峡東	21	5.25	3	0.75	1	0.25	5	1.25
峡南	1	0.50	-	-	-	-	-	-
富士・東部	63	12.6	4	0.80	1	0.20	6	1.20
甲府市	49	9.80	8	1.60	2	0.40	9	1.80
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年28週(07月08日～07月14日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.13	-	-	9	1.00	1	0.10	1	0.10
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	9	4.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-	1	0.50	1	0.50
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年28週(07月08日～07月14日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	1.00	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年29週(07月15日～07月21日) 2019年07月25日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.02	-	-	1	0.04	19	0.79	57	2.38	7	0.29
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	10	3.33	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	2	0.40	3	0.60	1	0.20
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.50
峡南	1	0.33	-	-	-	-	-	-	3	1.50	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.20	10	2.00	25	5.00	4	0.80
甲府市	-	-	-	-	-	-	7	1.40	16	3.20	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年29週(07月15日～07月21日)コメント

手足口病は県全域で患者報告数が急増しています。中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内の警報レベルは継続しており、新たに峡南保健所管内で警報レベルとなりました。また、中北保健所管内でも報告数が多くなっています。手足口病は、ウイルスの感染によって口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る感染症で、子どもを中心に、主に夏に流行します。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)で、比較的長い期間、便からウイルスが排泄されることがあるので注意が必要です。

伝染性紅斑は中北保健所峡北支所管内の警報レベルは継続しており、峡東保健所管内でも報告数が多くなっています。伝染性紅斑は「リンゴ病」とも言われ、ウイルス感染による紅斑を主症状とする発疹性疾患です。小児にみられることが多く、ほとんどは軽症で自然に治りますが、関節炎がみられたり、妊婦が感染すると、胎児の異常や流産になることがあります。

これらの感染症を予防するため、咳エチケットや十分な手洗いを心がけ、タオルの共用は避けましょう。

【今週の警報】: 手足口病(中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)、伝染性紅斑(中北保健所峡北支所管内)

【今週の注意報】: なし

○山梨県集計(2019年29週(07月15日～07月21日))で報告が多い疾病順

手足口病	13.0 / 定当
感染性胃腸炎	2.38 / 定当
伝染性紅斑	1.38 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年29週(07月15日～07月21日))

手足口病	中北峡北	23.0 / 定当
感染性胃腸炎	富士・東部	5.00 / 定当
伝染性紅斑	中北峡北	3.40 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年29週(07月15日～07月21日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	313	13.0	33	1.38	5	0.21	20	0.83
中北	8	2.67	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	115	23.0	17	3.40	-	-	7	1.40
峡東	30	7.50	7	1.75	2	0.50	5	1.25
峡南	11	5.50	-	-	2	1.00	-	-
富士・東部	92	18.4	4	0.80	1	0.20	5	1.00
甲府市	57	11.4	4	0.80	-	-	3	0.60
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年29週(07月15日～07月21日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	5	0.56	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	5	2.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年29週(07月15日～07月21日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年30週(07月22日～07月28日) 2019年08月01日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.07	-	-	4	0.17	15	0.63	46	1.92	18	0.75
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	12	4.00	1	0.33
中北峡北	3	0.38	-	-	1	0.20	8	1.60	9	1.80	7	1.40
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.75
峡南	-	-	-	-	1	0.50	-	-	2	1.00	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.40	3	0.60	13	2.60	6	1.20
甲府市	-	-	-	-	-	-	4	0.80	10	2.00	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年30週(07月22日～07月28日)コメント

手足口病は中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内で警報レベルが継続しています。手足口病は、ウイルスの感染によって口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る感染症で、子どもを中心に、主に夏に流行します。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)で、比較的長い期間、便からウイルスが排泄されることがあるので注意しましょう。

伝染性紅斑は、中北保健所峡北支所管内の警報レベルは継続しており、峡東保健所管内及び甲府市保健所管内でも報告数が多くなっています。伝染性紅斑は「リンゴ病」とも言われ、ウイルス感染による紅斑を主症状とする発疹性疾患です。小児にみられることが多く、ほとんどは軽症で自然に治りますが、関節炎がみられたり、妊婦が感染すると、胎児の異常や流産になることがあるので注意が必要です。

水痘は、中北保健所峡北支所管内及び富士・東部保健所管内で注意報レベルとなりました。ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症で、「みずぼうそう」とも言われます。空気感染、飛沫感染、接触感染によって広がりますが、ワクチン接種による予防が可能です。詳しくはお住まいの市町村予防接種担当窓口、各保健所にお問い合わせ下さい。

これらの感染症予防のため、咳エチケットや十分な手洗いを心がけ、タオルの共用は避けましょう。

○山梨県集計(2019年30週(07月22日～07月28日))で報告が多い疾病順

手足口病	19.3 / 定当
感染性胃腸炎	1.92 / 定当
ヘルパンギーナ	1.75 / 定当
流行性角結膜炎	1.44 / 定当
伝染性紅斑	1.29 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年30週(07月22日～07月28日))

手足口病	富士・東部	28.4 / 定当
感染性胃腸炎	中北	4.00 / 定当
ヘルパンギーナ	中北峡北	3.40 / 定当
流行性角結膜炎	富士・東部	5.50 / 定当
伝染性紅斑	中北峡北	2.40 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年30週(07月22日～07月28日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	463	19.3	31	1.29	6	0.25	42	1.75
中北	10	3.33	2	0.67	-	-	-	-
中北峡北	131	26.2	12	2.40	1	0.20	17	3.40
峡東	74	18.5	7	1.75	1	0.25	5	1.25
峡南	5	2.50	-	-	-	-	-	-
富士・東部	142	28.4	2	0.40	4	0.80	8	1.60
甲府市	101	20.2	8	1.60	-	-	12	2.40
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年30週(07月22日～07月28日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.04	-	-	13	1.44	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	11	5.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年30週(07月22日～07月28日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年31週(07月29日～08月04日) 2019年08月08日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	5	0.12	1	0.04	4	0.17	8	0.33	54	2.25	5	0.21
中北	1	0.20	-	-	-	-	-	-	14	4.67	2	0.67
中北峡北	-	-	1	0.20	1	0.20	2	0.40	8	1.60	-	-
峡東	-	-	-	-	1	0.25	1	0.25	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.50	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	0.40	2	0.40	17	3.40	2	0.40
甲府市	4	0.44	-	-	-	-	3	0.60	12	2.40	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年31週(07月29日～08月04日)コメント

手足口病は新たに中北保健所管内が警報レベルとなりました。これで県内全保健所管内で警報レベルになりました。ウイルスの感染によって口の中や、手足などに水泡性の発疹が出る感染症で、子どもを中心に、主に夏に流行します。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)で、比較的長い期間、便からウイルスが排泄されることがあるので注意しましょう。

伝染性紅斑は、中北保健所峡北支所管内の警報レベルは継続しており、富士・東部保健所管内で新たに警報レベルとなりました。伝染性紅斑は「リンゴ病」とも言われ、ウイルス感染による紅斑を主症状とする発疹性疾患です。

ヘルパンギーナは中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内で報告数が多くなっています。

これらの感染症予防のため、咳エチケットや十分な手洗いを心がけ、タオルの共用は避けましょう。

【今週の警報】: 手足口病(中北保健所、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)、

伝染性紅斑(中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内)

【今週の注意報】: なし

○山梨県集計(2019年31週(07月29日～08月04日))で報告が多い疾病順

手足口病	18.8 / 定当
感染性胃腸炎	2.25 / 定当
ヘルパンギーナ	1.83 / 定当
伝染性紅斑	1.00 / 定当
流行性角結膜炎	1.00 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年31週(07月29日～08月04日))

手足口病	富士・東部	28.6 / 定当
感染性胃腸炎	中北	4.67 / 定当
ヘルパンギーナ	中北峡北	3.20 / 定当
伝染性紅斑	富士・東部	2.20 / 定当
流行性角結膜炎	富士・東部	3.00 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年31週(07月29日～08月04日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	452	18.8	24	1.00	5	0.21	44	1.83
中北	18	6.00	-	-	-	-	2	0.67
中北峡北	132	26.4	8	1.60	-	-	16	3.20
峡東	47	11.8	2	0.50	-	-	3	0.75
峡南	12	6.00	-	-	-	-	-	-
富士・東部	143	28.6	11	2.20	3	0.60	12	2.40
甲府市	100	20.0	3	0.60	2	0.40	11	2.20
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年31週(07月29日～08月04日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.04	-	-	9	1.00	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	6	3.00	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年31週(07月29日～08月04日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年32週(08月05日～08月11日) 2019年08月22日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	18	0.44	10	0.42	3	0.13	10	0.42	40	1.67	5	0.21
中北	7	1.40	-	-	-	-	-	-	16	5.33	-	-
中北峡北	9	1.13	10	2.00	2	0.40	1	0.20	5	1.00	3	0.60
峡東	2	0.29	-	-	-	-	2	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	4	0.80	10	2.00	2	0.40
甲府市	-	-	-	-	1	0.20	3	0.60	9	1.80	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年32週(08月05日～08月11日)コメント

手足口病は中北保健所管内が警報レベル解除となりましたが、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内及び甲府市保健所管内で警報レベルが継続しています。ウイルスの感染によって口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る感染症で、子どもを中心に、主に夏に流行します。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染(便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること)で、比較的長い期間、便からウイルスが排泄されることがあるので注意しましょう。

伝染性紅斑は、中北保健所峡北支所管内の警報レベルは継続しており、富士・東部保健所管内では、警報レベルが解除となりました。伝染性紅斑は「リンゴ病」とも言われ、ウイルス感染による紅斑を主症状とする発疹性疾患です。

これらの感染症予防のため、咳エチケットや十分な手洗いを心がけ、タオルの共用は避けましょう。

海外へ渡航され、帰国後に発熱や下痢などの症状が出た方は、医療機関受診の際に渡航歴を必ず伝えてください。不明な点がありましたら、最寄りの保健所にご相談ください。

【今週の警報】:手足口病(中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)、伝染性紅斑(中北保健所峡北支所管内)

【今週の注意報】:なし

○山梨県集計(2019年32週(08月05日～08月11日))で報告が多い疾病順

手足口病	16.1 / 定当
ヘルパンギーナ	1.71 / 定当
感染性胃腸炎	1.67 / 定当
流行性角結膜炎	1.33 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年32週(08月05日～08月11日))

手足口病	中北峡北	25.6 / 定当
ヘルパンギーナ	中北峡北	3.00 / 定当
感染性胃腸炎	中北	5.33 / 定当
流行性角結膜炎	富士・東部	4.00 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年32週(08月05日～08月11日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	387	16.1	15	0.63	8	0.33	41	1.71
中北	16	5.33	-	-	-	-	2	0.67
中北峡北	128	25.6	5	1.00	-	-	15	3.00
峡東	65	16.3	2	0.50	4	1.00	3	0.75
峡南	4	2.00	-	-	-	-	-	-
富士・東部	102	20.4	3	0.60	1	0.20	14	2.80
甲府市	72	14.4	5	1.00	3	0.60	7	1.40
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年32週(08月05日～08月11日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.13	-	-	12	1.33	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	4	2.00	-	-	-	-
峡東	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	8	4.00	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年32週(08月05日～08月11日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年33週(08月12日～08月18日) 2019年08月22日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	7	0.17	5	0.21	3	0.13	5	0.21	29	1.21	2	0.08
中北	3	0.60	-	-	-	-	1	0.33	7	2.33	-	-
中北峡北	3	0.38	4	0.80	-	-	-	-	2	0.40	1	0.20
峡東	1	0.14	1	0.25	-	-	1	0.25	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2.00	-	-
富士・東部	-	-	-	-	3	0.60	2	0.40	6	1.20	1	0.20
甲府市	-	-	-	-	-	-	1	0.20	9	1.80	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年33週(08月12日～08月18日)コメント

手足口病は中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内及び甲府市保健所管内で警報レベルが継続しています。また、ヘルパンギーナは富士・東部保健所管内で報告数が多くなっています。

手足口病、ヘルパンギーナはいわゆる夏かぜの代表的なウイルス性疾患です。これらの感染症予防のため、感染者との濃厚な接触を避け、手洗い・うがいを徹底しましょう。

海外へ渡航され、帰国後に発熱や下痢などの症状が出た方は、医療機関受診の際に渡航歴を必ず伝えてください。不明な点がありましたら、最寄りの保健所にご相談ください。

【今週の警報】: 手足口病(中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)

【今週の注意報】: なし

○山梨県集計(2019年33週(08月12日～08月18日))で報告が多い疾病順

手足口病	5.54 / 定当
ヘルパンギーナ	1.25 / 定当
感染性胃腸炎	1.21 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年33週(08月12日～08月18日))

手足口病	富士・東部	11.0 / 定当
ヘルパンギーナ	富士・東部	3.80 / 定当
感染性胃腸炎	中北	2.33 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年33週(08月12日～08月18日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	133	5.54	9	0.38	2	0.08	30	1.25
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	30	6.00	3	0.60	-	-	4	0.80
峡東	15	3.75	1	0.25	1	0.25	2	0.50
峡南	15	7.50	-	-	-	-	1	0.50
富士・東部	55	11.0	4	0.80	-	-	19	3.80
甲府市	18	3.60	-	-	1	0.20	4	0.80
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年33週(08月12日～08月18日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	2	0.22	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年33週(08月12日～08月18日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.30	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.50	-	-	-	-
甲府市	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年34週(08月19日～08月25日) 2019年08月29日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	4	0.10	12	0.50	1	0.04	7	0.29	42	1.75	4	0.17
中北	1	0.20	-	-	-	-	-	-	12	4.00	-	-
中北峡北	-	-	2	0.40	-	-	2	0.40	4	0.80	1	0.20
峡東	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1.00	1	0.50
富士・東部	1	0.11	2	0.40	1	0.20	2	0.40	11	2.20	2	0.40
甲府市	2	0.22	8	1.60	-	-	2	0.40	13	2.60	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年34週(08月19日～08月25日)コメント

手足口病は中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内及び甲府市保健所管内で警報レベルが継続しています。また、ヘルパンギーナは富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内で報告数が多くなっています。
 手足口病、ヘルパンギーナはいわゆる夏かぜの代表的なウイルス性疾患です。これらの感染症予防のため、感染者との濃厚な接触を避け、手洗い・うがいを徹底しましょう。詳しくは当センターホームページのトップページ「感染症の基礎知識」から確認できますので参考にしてください。
 海外へ渡航され、帰国後に発熱や下痢などの症状が出た方は、医療機関受診の際に渡航歴を必ず伝えてください。不明な点がありましたら、最寄りの保健所にご相談ください。

【警報】: 手足口病(中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)
 【注意報】: なし

○山梨県集計(2019年34週(08月19日～08月25日))で報告が多い疾病順

手足口病	4.92 / 定当
感染性胃腸炎	1.75 / 定当
ヘルパンギーナ	1.13 / 定当
流行性角結膜炎	1.11 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年34週(08月19日～08月25日))

手足口病	中北峡北	7.40 / 定当
感染性胃腸炎	中北	4.00 / 定当
ヘルパンギーナ	富士・東部	2.00 / 定当
ヘルパンギーナ	甲府市	2.00 / 定当
流行性角結膜炎	富士・東部	4.00 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年34週(08月19日～08月25日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	118	4.92	12	0.50	5	0.21	27	1.13
中北	5	1.67	-	-	-	-	-	-
中北峡北	37	7.40	5	1.00	2	0.40	5	1.00
峡東	26	6.50	1	0.25	1	0.25	2	0.50
峡南	8	4.00	-	-	-	-	-	-
富士・東部	29	5.80	1	0.20	1	0.20	10	2.00
甲府市	13	2.60	5	1.00	1	0.20	10	2.00
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年34週(08月19日～08月25日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.04	-	-	10	1.11	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	1	0.50	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	8	4.00	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年34週(08月19日～08月25日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年35週(08月26日～09月01日) 2019年09月05日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.02	31	1.29	2	0.08	14	0.58	53	2.21	4	0.17
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2.33	-	-
中北峡北	-	-	9	1.80	-	-	2	0.40	2	0.40	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	2	0.50	3	0.75	2	0.50
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2.00	1	0.50
富士・東部	-	-	-	-	2	0.40	7	1.40	18	3.60	1	0.20
甲府市	1	0.11	22	4.40	-	-	3	0.60	19	3.80	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年35週(08月26日～09月01日)コメント

手足口病は患者報告数が減少傾向にあり、峡南保健所管内では警報レベルを下回りましたが、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内及び甲府市保健所管内では依然として警報レベルが継続しています。
 RSウイルス感染症は患者報告数が増加傾向にあり、甲府市保健所管内の増加が目立っています。また、ヘルパンギーナは峡東保健所管内で報告数がやや多くなっています。
 これらの感染症予防のため、感染者との濃厚な接触を避け、手洗い・うがいを徹底しましょう。詳しくは当センターホームページのトップページ「感染症の基礎知識」から確認できますので参考にしてください。
 海外へ渡航され、帰国後に発熱や下痢などの症状が出た方は、医療機関受診の際に渡航歴を必ず伝えてください。不明な点がありましたら、最寄りの保健所にご相談ください。

【警報】:手足口病(中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)
 【注意報】:なし

○山梨県集計(2019年35週(08月26日～09月01日))で報告が多い疾病順

手足口病 4.75 / 定当
 感染性胃腸炎 2.21 / 定当
 RSウイルス感染症 1.29 / 定当
 ヘルパンギーナ 1.00 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年35週(08月26日～09月01日))

手足口病 中北峡北 9.80 / 定当
 感染性胃腸炎 甲府市 3.80 / 定当
 RSウイルス感染症 甲府市 4.40 / 定当
 ヘルパンギーナ 峡東 2.00 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年35週(08月26日～09月01日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	114	4.75	9	0.38	6	0.25	24	1.00
中北	1	0.33	-	-	-	-	1	0.3
中北峡北	49	9.80	2	0.40	1	0.20	2	0.40
峡東	16	4.00	1	0.25	-	-	8	2.00
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	28	5.60	5	1.00	2	0.40	5	1.00
甲府市	20	4.00	1	0.20	3	0.60	8	1.60
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年35週(08月26日～09月01日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	7	0.78	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年35週(08月26日～09月01日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.50	-	-	-	-
甲府市	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年36週(09月02日～09月08日) 2019年09月12日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	28	0.68	36	1.50	4	0.17	14	0.58	51	2.13	1	0.04
中北	17	3.40	1	0.33	-	-	-	-	13	4.33	-	-
中北峡北	1	0.13	4	0.80	3	0.60	4	0.80	6	1.20	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.50	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1.00	-	-
富士・東部	1	0.11	7	1.40	1	0.20	7	1.40	15	3.00	-	-
甲府市	9	1.00	24	4.80	-	-	3	0.60	13	2.60	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年36週(09月02日～09月08日)コメント

手足口病は中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内では依然として警報レベルが継続しており、中北保健所管内でも報告数が多くなっています。

インフルエンザは中北保健所管内、甲府市保健所管内で報告数がやや増加しており、今後の推移に注意が必要です。

RSウイルス感染症は患者報告数が増加傾向にあり、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内でやや増加しています。また、伝染性紅斑は中北保健所峡北支所管内で報告数が多くなっています。

これらの感染症予防のため、感染者との濃厚な接触を避け、咳エチケット、手洗い・うがいを徹底しましょう。詳しくは当センターホームページのトップページ「感染症の基礎知識」から確認できますので参考にしてください。

【警報】: 手足口病(中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)

【注意報】: なし

○山梨県集計(2019年36週(09月02日～09月08日))で報告が多い疾病順

手足口病 4.67 / 定当
 感染性胃腸炎 2.13 / 定当
 RSウイルス感染症 1.50 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年36週(09月02日～09月08日))

手足口病 中北峡北 11.6 / 定当
 感染性胃腸炎 中北 4.33 / 定当
 RSウイルス感染症 甲府市 4.80 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年36週(09月02日～09月08日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	112	4.67	15	0.63	6	0.25	16	0.67
中北	6	2.00	-	-	-	-	2	0.67
中北峡北	58	11.6	6	1.20	-	-	2	0.40
峡東	8	2.00	3	0.75	3	0.75	5	1.25
峡南	1	0.50	-	-	-	-	1	0.50
富士・東部	24	4.80	4	0.80	1	0.20	1	0.20
甲府市	15	3.00	2	0.40	2	0.40	5	1.00
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年36週(09月02日～09月08日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.13	-	-	8	0.89	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	1	0.50	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	4	2.00	-	-	-	-
甲府市	1	0.20	-	-	2	1.00	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年36週(09月02日～09月08日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年37週(09月09日～09月15日) 2019年09月19日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	40	0.98	52	2.17	7	0.29	9	0.38	62	2.58	1	0.04
中北	18	3.60	-	-	-	-	2	0.67	15	5.00	-	-
中北峡北	8	1.00	11	2.20	5	1.00	3	0.60	2	0.40	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.75	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1.00	1	0.50
富士・東部	-	-	10	2.00	1	0.20	3	0.60	25	5.00	-	-
甲府市	14	1.56	31	6.20	1	0.20	1	0.20	15	3.00	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年37週(09月09日～09月15日)コメント

手足口病は中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内で依然として警報レベルが継続しています。

インフルエンザは中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、甲府市保健所管内で報告数が増加しています。県内ではインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の措置が報告されており、今後の推移に注意が必要です。

RSウイルス感染症は中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内で報告数が増加しています。これらの感染症予防のため、感染者との濃厚な接触を避け、咳エチケット、手洗い・うがいを徹底しましょう。詳しくは当センターホームページのトップページ「感染症の基礎知識」から確認できますので参考にしてください。

【警報】: 手足口病(中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)

【注意報】: なし

○山梨県集計(2019年37週(09月09日～09月15日))で報告が多い疾病順

手足口病	3.67 / 定当
感染性胃腸炎	2.58 / 定当
RSウイルス感染症	2.17 / 定当
流行性角結膜炎	1.11 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年37週(09月09日～09月15日))

手足口病	富士・東部	6.20 / 定当
感染性胃腸炎	中北	5.00 / 定当
	富士・東部	5.00 / 定当
RSウイルス感染症	甲府市	6.20 / 定当
流行性角結膜炎	中北峡北	3.00 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年37週(09月09日～09月15日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	88	3.67	6	0.25	3	0.13	11	0.46
中北	3	1.00	-	-	-	-	1	0.33
中北峡北	27	5.40	-	-	-	-	1	0.20
峡東	10	2.50	2	0.50	3	0.75	2	0.50
峡南	3	1.50	-	-	-	-	1	0.50
富士・東部	31	6.20	-	-	-	-	3	0.60
甲府市	14	2.80	4	0.80	-	-	3	0.60
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年37週(09月09日～09月15日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.08	-	-	10	1.11	-	-	-	-
中北	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	6	3.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年37週(09月09日～09月15日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	2	1.00	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年38週(09月16日～09月22日) 2019年09月26日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	38	0.93	51	2.13	8	0.33	13	0.54	48	2.00	6	0.25
中北	17	3.40	-	-	-	-	-	-	18	6.00	-	-
中北峡北	7	0.88	22	4.40	2	0.40	7	1.40	8	1.60	4	0.80
峡東	-	-	5	1.25	-	-	2	0.50	1	0.25	-	-
峡南	1	0.33	-	-	-	-	-	-	2	1.00	-	-
富士・東部	1	0.11	11	2.20	-	-	4	0.80	10	2.00	2	0.40
甲府市	12	1.33	13	2.60	6	1.20	-	-	9	1.80	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年38週(09月16日～09月22日)コメント

手足口病は、県全域の報告数は減少傾向ですが、中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内では依然として警報レベルが継続しています。

インフルエンザは中北保健所管内、甲府市保健所管内で報告数が多くなっています。県内ではインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の措置が報告されており、今後の推移に注意が必要です。

RSウイルス感染症は県全域の報告数は横ばい傾向ですが、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内では報告数が増加しています。

これらの感染症予防のため、感染者との濃厚な接触を避け、咳エチケット、手洗い・うがいを徹底しましょう。詳しくは当センターホームページのトップページ「感染症の基礎知識」から確認できますので参考にしてください。

【警報】:手足口病(中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)

【注意報】:なし

○山梨県集計(2019年38週(09月16日～09月22日))で報告が多い疾病順

手足口病	2.42 / 定当
RSウイルス感染症	2.13 / 定当
感染性胃腸炎	2.00 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年38週(09月16日～09月22日))

手足口病	中北峡北	6.20 / 定当
RSウイルス感染症	中北峡北	4.40 / 定当
感染性胃腸炎	中北	6.00 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年38週(09月16日～09月22日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	58	2.42	4	0.17	8	0.33	13	0.54
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	31	6.20	1	0.20	1	0.20	5	1.00
峡東	1	0.25	2	0.50	3	0.75	1	0.25
峡南	2	1.00	-	-	-	-	1	0.50
富士・東部	14	2.80	1	0.20	1	0.20	3	0.60
甲府市	10	2.00	-	-	3	0.60	3	0.60
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年38週(09月16日～09月22日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.13	-	-	8	0.89	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	7	3.50	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
甲府市	1	0.20	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年38週(09月16日～09月22日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	2	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年39週(09月23日～09月29日) 2019年10月03日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	33	0.80	49	2.04	2	0.08	8	0.33	40	1.67	-	-
中北	9	1.80	1	0.33	-	-	-	-	9	3.00	-	-
中北峡北	3	0.38	9	1.80	2	0.40	2	0.40	1	0.20	-	-
峡東	2	0.29	2	0.50	-	-	2	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
富士・東部	8	0.89	11	2.20	-	-	2	0.40	22	4.40	-	-
甲府市	11	1.22	26	5.20	-	-	2	0.40	7	1.40	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年39週(09月23日～09月29日)コメント

手足口病は、県全域の報告数は減少傾向ですが、依然として中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内では警報レベルが継続しています。

インフルエンザは、平年の同時期と比較して多い報告数で推移しており、中北保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内で特に多い状況です。

RSウイルス感染症は県全域の報告数は横ばい傾向ですが、甲府市保健所管内では報告数が増加しています。また、流行性角結膜炎は中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内で報告数がやや多くなっています。

これらの感染症予防のため、感染者との濃厚な接触やタオルの共用は避け、咳エチケット、手洗い・うがいを徹底しましょう。詳しくは当センターホームページのトップページ「感染症の基礎知識」から確認できますので参考してください。

【警報】:手足口病(中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)

【注意報】:なし

○山梨県集計(2019年39週(09月23日～09月29日))で報告が多い疾病順

RSウイルス感染症	2.04 / 定当
手足口病	1.88 / 定当
感染性胃腸炎	1.67 / 定当
流行性角結膜炎	1.33 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年39週(09月23日～09月29日))

RSウイルス感染症	甲府市	5.20 / 定当
手足口病	富士・東部	3.40 / 定当
感染性胃腸炎	富士・東部	4.40 / 定当
流行性角結膜炎	中北峡北	3.00 / 定当
流行性角結膜炎	富士・東部	3.00 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年39週(09月23日～09月29日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	45	1.88	10	0.42	8	0.33	16	0.67
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	15	3.00	2	0.40	1	0.20	6	1.20
峡東	2	0.50	5	1.25	1	0.25	3	0.75
峡南	1	0.50	-	-	-	-	3	1.50
富士・東部	17	3.40	3	0.60	3	0.60	4	0.80
甲府市	10	2.00	-	-	3	0.60	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年39週(09月23日～09月29日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	12	1.33	1	0.10	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	6	3.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	6	3.00	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年39週(09月23日～09月29日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年40週(09月30日～10月06日) 2019年10月10日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	37	0.90	46	1.92	4	0.17	16	0.67	59	2.46	6	0.25
中北	17	3.40	4	1.33	-	-	-	-	16	5.33	-	-
中北峡北	4	0.50	11	2.20	4	0.80	2	0.40	5	1.00	3	0.60
峡東	4	0.57	3	0.75	-	-	1	0.25	3	0.75	-	-
峡南	2	0.67	-	-	-	-	-	-	3	1.50	1	0.50
富士・東部	1	0.11	3	0.60	-	-	10	2.00	19	3.80	-	-
甲府市	9	1.00	25	5.00	-	-	3	0.60	13	2.60	2	0.40
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年40週(09月30日～10月06日)コメント

流行性角結膜炎は中北保健所峡北支所管内で警報レベルとなりました。ウイルスの感染により、結膜の充血や眼瞼の浮腫、眼の痛みを引き起こします。ウイルスの付着した手指やタオルなどを介した接触により感染するため、手洗いを心がけ、タオルなどの共用は避けましょう。

手足口病は、全ての保健所管内で警報レベルを下回りましたが、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内では依然として、やや多い定当報告数となっています。

インフルエンザは、平年の同時期と比較して多い定当報告数で推移しており、中北保健所管内、甲府市保健所管内で特に多い状況です。

RSウイルス感染症は県全体の定当報告数は減少傾向ですが、中北保健所峡北支所管内、甲府市保健所管内では県全体の定当報告数を上回っており、引き続き注意が必要です。

これらの感染症予防のため、感染者との濃厚な接触やタオルの共用は避け、咳エチケット、手洗い・うがいを徹底しましょう。詳しくは当センターホームページのトップページ「感染症の基礎知識」から確認できますので参考にしてください。

【警報】: 流行性角結膜炎(中北保健所峡北支所管内)

【注意報】: なし

○山梨県集計(2019年40週(09月30日～10月06日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎	2.46 / 定当
流行性角結膜炎	2.22 / 定当
RSウイルス感染症	1.92 / 定当
手足口病	1.04 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年40週(09月30日～10月06日))

感染性胃腸炎	中北	5.33 / 定当
流行性角結膜炎	中北峡北	9.00 / 定当
RSウイルス感染症	甲府市	5.00 / 定当
手足口病	甲府市	1.80 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年40週(09月30日～10月06日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	25	1.04	6	0.25	5	0.21	10	0.42
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	5	1.00	1	0.20	-	-	-	-
峡東	3	0.75	3	0.75	-	-	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	1	0.50
富士・東部	8	1.60	2	0.40	2	0.40	4	0.80
甲府市	9	1.80	-	-	3	0.60	4	0.80
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年40週(09月30日～10月06日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	20	2.22	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	18	9.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年40週(09月30日～10月06日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年41週(10月07日～10月13日) 2019年10月17日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	14	0.34	34	1.42	5	0.21	13	0.54	54	2.25	-	-
中北	1	0.20	2	0.67	-	-	-	-	9	3.00	-	-
中北峡北	4	0.50	6	1.20	1	0.20	-	-	-	-	-	-
峡東	3	0.43	2	0.50	1	0.25	1	0.25	3	0.75	-	-
峡南	-	-	1	0.50	-	-	-	-	10	5.00	-	-
富士・東部	2	0.22	4	0.80	-	-	10	2.00	19	3.80	-	-
甲府市	4	0.44	19	3.80	3	0.60	2	0.40	13	2.60	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年41週(10月07日～10月13日)コメント

流行性角結膜炎は、中北保健所峡北支所管内で警報レベルが継続しています。ウイルスの感染により、結膜の充血や眼瞼の浮腫、眼の痛みを引き起こします。ウイルスの付着した手指やタオルなどを介した接触により感染するため、手洗いを心がけ、タオルなどの共用は避けましょう。
 手足口病は、中北保健所峡北支所管内で定当報告数が多くなっており、富士・東部保健所管内でもやや多い定当報告数となっています。また、インフルエンザは、平年の同時期と比較してやや多い定当報告数で推移しています。
 RSウイルス感染症は県全体の定当報告数は減少傾向ですが、甲府市保健所管内では県全体の定当報告数を上回っており、引き続き注意が必要です。
 これらの感染症予防のため、感染者との濃厚な接触やタオルの共用は避け、咳エチケット、手洗い・うがいを徹底しましょう。詳しくは当センターホームページのトップページ「感染症の基礎知識」から確認できますので参考にしてください。

【警報】: 流行性角結膜炎(中北保健所峡北支所管内)
 【注意報】: なし

○山梨県集計(2019年41週(10月07日～10月13日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎 2.25 / 定当
 流行性角結膜炎 1.56 / 定当
 RSウイルス感染症 1.42 / 定当
 手足口病 1.00 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年41週(10月07日～10月13日))

感染性胃腸炎 峡南 5.00 / 定当
 流行性角結膜炎 中北峡北 4.50 / 定当
 RSウイルス感染症 甲府市 3.80 / 定当
 手足口病 中北峡北 2.40 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年41週(10月07日～10月13日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	24	1.00	7	0.29	-	-	3	0.13
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	12	2.40	1	0.20	-	-	1	0.20
峡東	-	-	2	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	1	0.50	-	-	-	-
富士・東部	9	1.80	3	0.60	-	-	1	0.20
甲府市	3	0.60	-	-	-	-	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年41週(10月07日～10月13日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.04	-	-	14	1.56	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	9	4.50	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	1	0.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年41週(10月07日～10月13日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年42週(10月14日～10月20日) 2019年10月24日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	27	0.66	16	0.67	-	-	12	0.50	46	1.92	1	0.04
中北	2	0.40	2	0.67	-	-	-	-	12	4.00	-	-
中北峡北	13	1.63	6	1.20	-	-	2	0.40	-	-	-	-
峡東	4	0.57	-	-	-	-	2	0.50	2	0.50	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2.00	-	-
富士・東部	-	-	2	0.40	-	-	5	1.00	18	3.60	1	0.20
甲府市	8	0.89	6	1.20	-	-	3	0.60	10	2.00	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年42週(10月14日～10月20日)コメント

流行性角結膜炎は、中北保健所峡北支所管内でやや多い定当報告数となっています。また、手足口病は甲府市保健所管内でやや多い定当報告数となっています。

インフルエンザは、平年の同時期と比較してやや多い定当報告数で推移しており、中北保健所峡北支所管内で多い状況です。

RSウイルス感染症は県全体の定当報告数は減少傾向ですが、中北保健所峡北支所管内、甲府市保健所管内では県全体の定当報告数を上回っており、引き続き注意が必要です。

これらの感染症予防のため、感染者との濃厚な接触やタオルの共用は避け、咳エチケット、手洗い・うがいを徹底しましょう。詳しくは当センターホームページのトップページ「感染症の基礎知識」から確認できますので参考にしてください。

【警報】:なし

【注意報】:なし

○山梨県集計(2019年42週(10月14日～10月20日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎 1.92 / 定当
流行性角結膜炎 1.22 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年42週(10月14日～10月20日))

感染性胃腸炎 中北 4.00 / 定当
流行性角結膜炎 中北峡北 3.50 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年42週(10月14日～10月20日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	15	0.63	4	0.17	3	0.13	1	0.04
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	3	0.60	1	0.20	-	-	-	-
峡東	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	4	0.80	3	0.60	3	0.60	-	-
甲府市	7	1.40	-	-	-	-	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年42週(10月14日～10月20日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	5	0.21	-	-	11	1.22	-	-	-	-
中北	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	7	3.50	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	4	0.80	-	-	2	1.00	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年42週(10月14日～10月20日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年43週(10月21日～10月27日) 2019年10月31日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	43	1.05	18	0.75	4	0.17	11	0.46	51	2.13	1	0.04
中北	4	0.80	2	0.67	-	-	2	0.67	17	5.67	-	-
中北峡北	30	3.75	5	1.00	1	0.20	1	0.20	3	0.60	-	-
峡東	5	0.71	1	0.25	1	0.25	1	0.25	2	0.50	-	-
峡南	-	-	-	-	1	0.50	-	-	3	1.50	-	-
富士・東部	-	-	3	0.60	-	-	7	1.40	12	2.40	1	0.20
甲府市	4	0.44	7	1.40	1	0.20	-	-	14	2.80	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年43週(10月21日～10月27日)コメント

インフルエンザは、平年の同時期と比較してやや多い定当報告数で推移しており、中北保健所峡北支所管内で特に多い状況です。また、県全域の定当報告数が流行期入りの目安となる1.00を上回ったことから、県内はインフルエンザの流行期に入ったと考えられます。今後はさらに増加が予想されるため、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」を参考に、感染予防に努めてください。

流行性角結膜炎は、県全域の定当報告数がやや増加しており、中北保健所峡北支所管内で多い定当報告数となっています。ウイルスの感染により発症し、結膜の充血や眼瞼の浮腫、眼の痛みを引き起こします。ウイルスの付着した手指やタオルなどを介した接触により感染するため、手洗いを心がけ、タオルなどの共用は避けましょう。

【警報】:なし
【注意報】:なし

○山梨県集計(2019年43週(10月21日～10月27日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎 2.13 / 定当
流行性角結膜炎 1.78 / 定当
インフルエンザ 1.05 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年43週(10月21日～10月27日))

感染性胃腸炎 中北 5.67 / 定当
流行性角結膜炎 中北峡北 4.00 / 定当
インフルエンザ 中北峡北 3.75 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年43週(10月21日～10月27日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	16	0.67	9	0.38	12	0.50	5	0.21
中北	1	0.33	-	-	-	-	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	1	0.20	1	0.20
峡東	3	0.75	3	0.75	3	0.75	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	5	1.00	3	0.60	4	0.80	1	0.20
甲府市	6	1.20	3	0.60	4	0.80	2	0.40
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年43週(10月21日～10月27日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	16	1.78	1	0.10	2	0.20
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	8	4.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	4	2.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	2	1.00	1	0.5	2	1.00
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年43週(10月21日～10月27日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年44週(10月28日～11月03日) 2019年11月07日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	18	0.44	13	0.54	2	0.08	23	0.96	53	2.21	5	0.21
中北	-	-	1	0.33	-	-	1	0.33	10	3.33	-	-
中北峡北	13	1.63	3	0.60	-	-	3	0.60	-	-	3	0.60
峡東	2	0.29	-	-	-	-	7	1.75	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.11	-	-	1	0.20	11	2.20	23	4.60	2	0.40
甲府市	2	0.22	9	1.80	1	0.20	1	0.20	19	3.80	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年44週(10月28日～11月03日)コメント

流行性角結膜炎は、中北保健所峡北支所管内で警報レベルとなり、県全域の定当報告数もやや増加しています。ウイルスの感染により発症し、結膜の充血や眼瞼の浮腫、眼の痛みを引き起こします。ウイルスの付着した手指やタオルなどを介した接触により感染するため、手洗いを心がけ、タオルなどの共用は避けましょう。

インフルエンザは、県全域の定当報告数は流行期入りの目安である1.00を下回っていますが、平年の同時期と比較してやや多い定当報告数で推移しており、中北保健所峡北支所管内で多い状況です。今後はさらに増加が予想されるため、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」を参考に、感染予防に努めてください。

【警報】:流行性角結膜炎(中北保健所峡北支所管内)

【注意報】:なし

○山梨県集計(2019年44週(10月28日～11月03日))で報告が多い疾病順

流行性角結膜炎 2.89 / 定当
 感染性胃腸炎 2.21 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年44週(10月28日～11月03日))

流行性角結膜炎 中北峡北 8.00 / 定当
 感染性胃腸炎 富士・東部 4.60 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年44週(10月28日～11月03日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	11	0.46	7	0.29	9	0.38	5	0.21
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	1	0.20	3	0.60
峡東	-	-	2	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	4	0.80	4	0.80	3	0.60	-	-
甲府市	7	1.40	1	0.20	5	1.00	2	0.40
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年44週(10月28日～11月03日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	26	2.89	-	-	1	0.10
中北	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	16	8.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	5	2.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	3	1.50	-	-	1	0.50
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年44週(10月28日～11月03日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	2	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年45週(11月04日～11月10日) 2019年11月14日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	34	0.83	9	0.38	1	0.04	18	0.75	56	2.33	2	0.08
中北	2	0.40	-	-	-	-	1	0.33	11	3.67	-	-
中北峡北	24	3.00	2	0.40	1	0.20	3	0.60	3	0.60	-	-
峡東	4	0.57	-	-	-	-	3	0.75	-	-	-	-
峡南	1	0.33	-	-	-	-	-	-	2	1.00	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	11	2.20	27	5.40	2	0.40
甲府市	3	0.33	7	1.40	-	-	-	-	13	2.60	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年45週(11月04日～11月10日)コメント

流行性角結膜炎は、中北保健所峡北支所管内で警報レベルが継続しています。また、急性出血性結膜炎は甲府市保健所管内で定当報告数がやや多くなっています。流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎はウイルスによって引き起こされる眼の感染症です。ウイルスの付着した手指やタオルなどを介して接触により感染するため、手洗いを心がけ、タオルなどの共用は避けましょう。

インフルエンザは、県全体の定当報告数は流行期入りの目安である1.00を下回っていますが、平年の同時期と比較してやや多い定当報告数で推移しており、中北保健所峡北支所管内で多い状況です。今後はさらに増加が予想されるため、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」を参考に、感染予防に努めてください。

【警報】:流行性角結膜炎(中北保健所峡北支所管内)

【注意報】:なし

○山梨県集計(2019年45週(11月04日～11月10日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎 2.33 / 定当
流行性角結膜炎 2.11 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年45週(11月04日～11月10日))

感染性胃腸炎 富士・東部 5.40 / 定当
流行性角結膜炎 中北峡北 7.50 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年45週(11月04日～11月10日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	10	0.42	8	0.33	4	0.17	3	0.13
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	3	0.60	1	0.20	-	-
峡東	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	8	1.60	3	0.60	-	-	2	0.40
甲府市	1	0.20	2	0.40	3	0.60	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年45週(11月04日～11月10日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.08	1	0.11	19	2.11	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	15	7.50	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-
甲府市	-	-	1	0.50	-	-	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	6～2		1～0.1		8～4					
【注意報レベル】	3									

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年45週(11月04日～11月10日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年46週(11月11日～11月17日) 2019年11月21日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	32	0.78	6	0.25	9	0.38	37	1.54	55	2.29	3	0.13
中北	8	1.60	-	-	-	-	2	0.67	9	3.00	-	-
中北峡北	10	1.25	1	0.20	-	-	5	1.00	5	1.00	2	0.40
峡東	3	0.43	1	0.25	1	0.25	4	1.00	6	1.50	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.50	-	-
富士・東部	2	0.22	1	0.20	5	1.00	22	4.40	22	4.40	1	0.20
甲府市	9	1.00	3	0.60	3	0.60	4	0.80	10	2.00	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年46週(11月11日～11月17日)コメント

流行性角結膜炎は、中北保健所峡北支所管内で警報レベルが継続しており、富士・東部保健所管内でも定当報告数が多くなっています。ウイルスの感染により発症し、結膜の充血や眼瞼の浮腫、眼の痛みを引き起こします。ウイルスの付着した手指やタオルなどを介した接触により感染するため、手洗いを心がけ、タオルなどの共用は避けましょう。

インフルエンザは、県全域の定当報告数は流行期入りの目安となる基準値1.00を下回っていますが、平年の同時期と比較してやや多い定当報告数で推移しており、中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、甲府市保健所管内でやや多い状況です。今後はさらに増加が予想されるため、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」を参考に、感染予防に努めてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は富士・東部保健所管内で定当報告数が多くなっています。感染予防のため、患者との濃厚接触を避け、手洗いうがいを励行しましょう。

【警報】: 流行性角結膜炎(中北保健所峡北支所管内)

【注意報】: なし

○山梨県集計(2019年46週(11月11日～11月17日))で報告が多い疾病順

流行性角結膜炎	2.78 / 定当
感染性胃腸炎	2.29 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.54 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年46週(11月11日～11月17日))

流行性角結膜炎	富士・東部	5.50 / 定当
感染性胃腸炎	富士・東部	4.40 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	富士・東部	4.40 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年46週(11月11日～11月17日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	9	0.38	8	0.33	3	0.13	1	0.04
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.25	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	8	1.60	5	1.00	1	0.20	1	0.20
甲府市	-	-	2	0.40	1	0.20	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年46週(11月11日～11月17日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	25	2.78	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	10	5.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	11	5.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年46週(11月11日～11月17日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	4	0.40	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	3	1.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年47週(11月18日～11月24日) 2019年11月28日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	61	1.49	5	0.21	4	0.17	21	0.88	47	1.96	12	0.50
中北	25	5.00	-	-	1	0.33	-	-	15	5.00	-	-
中北峡北	7	0.88	3	0.60	-	-	6	1.20	6	1.20	2	0.40
峡東	10	1.43	-	-	-	-	4	1.00	-	-	-	-
峡南	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50
富士・東部	5	0.56	2	0.40	3	0.60	9	1.80	19	3.80	9	1.80
甲府市	13	1.44	-	-	-	-	2	0.40	7	1.40	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年47週(11月18日～11月24日)コメント

水痘は、富士・東部保健所管内で注意報レベルとなりました。ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症で、「みずぼうそう」とも言われます。空気感染、飛沫感染、接触感染によって広がりますが、ワクチン接種による予防が可能です。詳しくはお住まいの市町村予防接種担当窓口、各保健所にお問い合わせ下さい。

インフルエンザは、県全域の定当報告数が流行期入りの目安となる基準値1.00を再び上回り、特に中北保健所管内で多い状況です。今後はさらに増加が予想されるため、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」を参考に、感染予防に努めてください。

流行性角結膜炎は、中北保健所峡北支所管内で定当報告数がやや多くなっています。ウイルスの付着した手指やタオルなどを介した接触により感染するため、手洗いを心がけ、タオルなどの共用は避けましょう。

【警報】:なし

【注意報】:水痘(富士・東部保健所管内)

○山梨県集計(2019年47週(11月18日～11月24日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎 1.96 / 定当
 インフルエンザ 1.49 / 定当
 流行性角結膜炎 1.33 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年47週(11月18日～11月24日))

感染性胃腸炎 中北 5.00 / 定当
 インフルエンザ 中北 5.00 / 定当
 流行性角結膜炎 中北峡北 3.50 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年47週(11月18日～11月24日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.04	6	0.25	10	0.42	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	1	0.20	2	0.40	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	4	0.80	6	1.20	-	-
甲府市	-	-	1	0.20	2	0.40	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年47週(11月18日～11月24日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	12	1.33	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	7	3.50	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年47週(11月18日～11月24日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	8	0.80	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	4	2.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	4	2.00	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年48週(11月25日～12月01日) 2019年12月05日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	95	2.32	16	0.67	7	0.29	35	1.46	62	2.58	6	0.25
中北	28	5.60	-	-	-	-	-	-	15	5.00	1	0.33
中北峡北	12	1.50	9	1.80	1	0.20	2	0.40	1	0.20	2	0.40
峡東	23	3.29	-	-	-	-	4	1.00	1	0.25	1	0.25
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1.00	-	-
富士・東部	3	0.33	4	0.80	4	0.80	25	5.00	29	5.80	2	0.40
甲府市	29	3.22	3	0.60	2	0.40	4	0.80	14	2.80	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年48週(11月25日～12月01日)コメント

インフルエンザは、県全域の定当報告数が前週から流行期入りの目安となる基準値1.00を上回っており、県内はインフルエンザの流行期に入ったと考えられます。中北保健所管内、峡東保健所管内、甲府市保健所管内で特に多い状況ですが、今後はさらに増加が予想されるため、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」を参考に、感染予防に努めてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は富士・東部保健所管内で定当報告数が多くなっています。A群レンサ球菌による上気道感染症で、乳幼児では咽頭炎、年長児や成人では扁桃炎が現れ、気管支炎を起こすこともあります。感染予防のため、患者との濃厚接触を避け、手洗い、うがいを励行しましょう。

【警報】:なし
【注意報】:なし

○山梨県集計(2019年48週(11月25日～12月01日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎	2.58 / 定当
インフルエンザ	2.32 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.46 / 定当
流行性角結膜炎	1.22 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年48週(11月25日～12月01日))

感染性胃腸炎	富士・東部	5.80 / 定当
インフルエンザ	中北	5.60 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	富士・東部	5.00 / 定当
流行性角結膜炎	中北峡北	2.50 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年48週(11月25日～12月01日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	8	0.33	9	0.38	6	0.25	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	7	1.40	3	0.60	1	0.20	-	-
峡東	-	-	2	0.50	-	-	-	-
峡南	1	0.50	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	3	0.60	-	-
甲府市	-	-	4	0.80	2	0.40	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年48週(11月25日～12月01日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	11	1.22	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	5	2.50	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年48週(11月25日～12月01日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	9	0.90	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	4	2.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	3	1.50	-	-	-	-
甲府市	2	1.00	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年49週(12月02日～12月08日) 2019年12月12日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	213	5.20	14	0.58	13	0.54	31	1.29	104	4.33	19	0.79
中北	68	13.6	-	-	-	-	-	-	18	6.00	-	-
中北峡北	25	3.13	8	1.60	1	0.20	2	0.40	16	3.20	3	0.60
峡東	39	5.57	-	-	-	-	4	1.00	9	2.25	-	-
峡南	5	1.67	-	-	-	-	-	-	3	1.50	-	-
富士・東部	31	3.44	4	0.80	4	0.80	24	4.80	29	5.80	15	3.00
甲府市	45	5.00	2	0.40	8	1.60	1	0.20	29	5.80	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年49週(12月02日～12月08日)コメント

水痘は、富士・東部保健所管内で警報レベルとなりました。ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症で、「みずぼうそう」とも言われます。飛沫感染、接触感染によって広がりますが、ワクチン接種による予防が可能です。詳しくはお住まいの市町村予防接種担当窓口、各保健所にお問い合わせ下さい。

インフルエンザは、全ての保健所管内で前週よりも定当報告数が増加しており、中北保健所管内では注意報レベル基準値である10.0を超え、インフルエンザ注意報レベルとなりました。今後はさらに増加が予想されるため、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」を参考に、感染予防に努めてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は富士・東部保健所管内で定当報告数が多くなっています。また、咽頭結膜熱は甲府市保健所管内で定当報告数が多くなっています。これらの感染症予防のため、手洗い、うがいを心がけ、タオル等の共用は避けましょう。

【警報】: 水痘(富士・東部保健所管内)

【注意報】: インフルエンザ(中北保健所管内)

○山梨県集計(2019年49週(12月02日～12月08日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ	5.20 / 定当
感染性胃腸炎	4.33 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.29 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年49週(12月02日～12月08日))

インフルエンザ	中北	13.6 / 定当
感染性胃腸炎	中北	6.00 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	富士・東部	4.80 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年49週(12月02日～12月08日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	5	0.21	10	0.42	4	0.17	2	0.08
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	2	0.40	2	0.40	1	0.20	-	-
峡東	-	-	2	0.50	-	-	-	-
峡南	1	0.50	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.40	4	0.80	2	0.40	-	-
甲府市	-	-	2	0.40	1	0.20	2	0.40
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年49週(12月02日～12月08日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.08	-	-	5	0.56	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	4	2.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.40	-	-	1	0.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年49週(12月02日～12月08日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年50週(12月09日～12月15日) 2019年12月19日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	439	10.7	21	0.88	5	0.21	44	1.83	125	5.21	22	0.92
中北	99	19.8	-	-	-	-	-	-	19	6.33	-	-
中北峡北	59	7.38	14	2.80	-	-	4	0.80	10	2.00	12	2.40
峡東	117	16.7	1	0.25	-	-	2	0.50	6	1.50	-	-
峡南	5	1.67	-	-	-	-	-	-	2	1.00	-	-
富士・東部	67	7.44	-	-	4	0.80	32	6.40	47	9.40	9	1.80
甲府市	92	10.2	6	1.20	1	0.20	6	1.20	41	8.20	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年50週(12月09日～12月15日)コメント

水痘は、富士・東部保健所管内の警報レベルは継続しており、新たに中北保健所峡北支所管内で警報レベルとなりました。ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症で、「みずぼうそう」とも言われます。飛沫感染、接触感染によって広がりますが、ワクチン接種による予防が可能です。詳しくはお住まいの市町村予防接種担当窓口、各保健所にお問い合わせ下さい。

インフルエンザは、中北保健所管内に加え、新たに峡東保健所管内、甲府市保健所管内で注意報レベル基準値である10.0を超え、インフルエンザ注意報レベルとなりました。今後はさらに増加が予想されるため、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」を参考に、感染予防に努めてください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は富士・東部保健所管内で定当報告数が多くなっています。また、感染性胃腸炎は中北保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内でやや多い定当報告数となっています。食品の十分な加熱や調理、食事前はもちろんのこと、日常生活においてもこまめな手洗いを心がけましょう。

年末年始に海外旅行を予定されている方は、渡航中に感染症にかからないよう、渡航先の感染症情報を確認しましょう。詳しくは当ホームページ内の「年末年始に海外へ渡航される皆様へ」(厚生労働省ホームページリンク)を参考にしてください。

【警報】: 水痘(中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内)

【注意報】: インフルエンザ(中北保健所管内、峡東保健所管内、甲府市保健所管内)

○山梨県集計(2019年50週(12月09日～12月15日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ	10.7 / 定当
感染性胃腸炎	5.21 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.83 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年50週(12月09日～12月15日))

インフルエンザ	中北	19.8 / 定当
感染性胃腸炎	富士・東部	9.40 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	富士・東部	6.40 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年50週(12月09日～12月15日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	8	0.33	8	0.33	8	0.33	1	0.04
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	5	1.00	2	0.40	1	0.20	-	-
峡東	1	0.25	2	0.50	1	0.25	-	-
峡南	2	1.00	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	4	0.80	3	0.60	-	-
甲府市	-	-	-	-	3	0.60	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年50週(12月09日～12月15日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.04	-	-	5	0.56	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	4	2.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年50週(12月09日～12月15日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	5	0.50	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	3	1.50	-	-	-	-
甲府市	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年51週(12月16日～12月22日) 2019年12月26日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	645	15.7	14	0.58	9	0.38	35	1.46	95	3.96	24	1.00
中北	90	18.0	-	-	-	-	5	1.67	25	8.33	-	-
中北峡北	125	15.6	11	2.20	2	0.40	6	1.20	9	1.80	4	0.80
峡東	165	23.6	1	0.25	-	-	1	0.25	4	1.00	-	-
峡南	10	3.33	-	-	-	-	1	0.50	1	0.50	-	-
富士・東部	146	16.2	1	0.20	5	1.00	19	3.80	33	6.60	20	4.00
甲府市	109	12.1	1	0.20	2	0.40	3	0.60	23	4.60	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年51週(12月16日～12月22日)コメント

水痘は、富士・東部保健所管内で警報レベルが継続しています。ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症で、「みずぼうそう」とも言われます。飛沫感染、接触感染によって広がりますが、ワクチン接種による予防が可能です。詳しくはお住まいの市町村予防接種担当窓口、各保健所にお問い合わせ下さい。

インフルエンザは、新たに中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内で注意報レベル基準値である10.0を超え、インフルエンザ注意報レベルとなりました。今後はさらに増加が予想されるため、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」を参考に、感染予防に努めてください。

感染性胃腸炎の患者報告数が増加する時期です。食品の十分な加熱や調理、食事前はもちろんのこと、日常生活においてもこまめな手洗いを心がけましょう。

年末年始に海外旅行を予定されている方は、渡航中に感染症にかからないよう、渡航先の感染症情報を確認しましょう。詳しくは当ホームページ内の「年末年始に海外へ渡航される皆様へ」(厚生労働省ホームページリンク)を参考にしてください。

【警報】: 水痘(富士・東部保健所管内)

【注意報】: インフルエンザ(中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)

○山梨県集計(2019年51週(12月16日～12月22日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ	15.7 / 定当
感染性胃腸炎	3.96 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.46 / 定当
水痘	1.00 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年51週(12月16日～12月22日))

インフルエンザ	峡東	23.6 / 定当
感染性胃腸炎	中北	8.33 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	富士・東部	3.80 / 定当
水痘	富士・東部	4.00 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年51週(12月16日～12月22日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.13	14	0.58	6	0.25	1	0.04
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	2	0.40	5	1.00	1	0.20	-	-
峡東	1	0.25	4	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	3	0.60	-	-	-	-
甲府市	-	-	1	0.20	5	1.00	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年51週(12月16日～12月22日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.04	-	-	6	0.67	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	2	1.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年51週(12月16日～12月22日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	4	0.40	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	2	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	1.00	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

感染症発生動向調査週報

2019年52週(12月23日～12月29日) 2020年01月09日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	873	21.3	27	1.13	8	0.33	32	1.33	111	4.63	23	0.96
中北	94	18.8	-	-	-	-	-	-	30	10.0	-	-
中北峡北	128	16.0	6	1.20	5	1.00	4	0.80	12	2.40	8	1.60
峡東	209	29.9	4	1.00	-	-	3	0.75	1	0.25	-	-
峡南	28	9.33	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
富士・東部	189	21.0	-	-	3	0.60	22	4.40	34	6.80	13	2.60
甲府市	225	25.0	17	3.40	-	-	2	0.40	34	6.80	2	0.40
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年52週(12月23日～12月29日)コメント

水痘は、富士・東部保健所管内の警報レベルは継続しており、新たに中北保健所峡北支所管内で注意報レベルとなりました。ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症で、「みずぼうそう」とも言われます。飛沫感染、接触感染によって広がりますが、ワクチン接種による予防が可能です。詳しくはお住まいの市町村予防接種担当窓口、各保健所にお問い合わせ下さい。

インフルエンザは、峡南保健所を除く県内4保健所及び峡北支所管内で注意報レベル基準値である10.0を超え、インフルエンザ注意報レベルとなっています。今後はさらに増加が予想されるため、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」を参考に、感染予防に努めてください。

感染性胃腸炎の患者報告数が増加する時期です。食品の十分な加熱調理や、こまめな手洗いを心がけましょう。

年末年始に海外へ渡航され帰国後に発熱や下痢などの症状が出た方は、病院受診の際に渡航歴を必ず伝えてください。詳しくは当ホームページ内の「年末年始に海外へ渡航される皆様へ」(厚生労働省ホームページリンク)を参考にしてください。

【警報】: 水痘(富士・東部保健所管内)

【注意報】: インフルエンザ(中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内、甲府市保健所管内)

水痘(中北保健所峡北支所管内)

○山梨県集計(2019年52週(12月23日～12月29日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ	21.3 / 定当
感染性胃腸炎	4.63 / 定当
流行性角結膜炎	1.67 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33 / 定当
RSウイルス感染症	1.13 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年52週(12月23日～12月29日))

インフルエンザ	峡東	29.9 / 定当
感染性胃腸炎	中北	10.0 / 定当
流行性角結膜炎	中北峡北	4.00 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	富士・東部	4.40 / 定当
RSウイルス感染症	甲府市	3.40 / 定当

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年52週(12月23日～12月29日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.13	16	0.67	2	0.08	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	8	1.60	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.25	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	2	0.40	1	0.20	-	-
甲府市	2	0.40	5	1.00	1	0.20	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年52週(12月23日～12月29日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	15	1.67	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	8	4.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	2	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	4	2.00	-	-	-	-
甲府市	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数

2019年52週(12月23日～12月29日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.30	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	2	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
甲府市	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

※定当: 定点医療機関当たりの患者報告数